

TABLE FOR TWO+Tohoku

東北だより

Vol. 3 2012年11月発行

食品パッケージ梱包作業のご報告 ～約600世帯へお届け～

2012年8月、本プログラムのご参加企業・学生の有志の皆様へ、食品パッケージの梱包をしていただきました。パッケージは、福島県南相馬市の仮設住宅を中心に、600世帯に届けられました。

600世帯のうち、約半数は仮設住宅にお住まいの世帯ですが、残りの皆様は「みなし仮設」といって、仮設住宅に入居せずに賃貸住宅・アパートに住んでいらっしゃる方々や、県外に避難されている方々です。みなし仮設に避難をされている世帯については、行政が状況を把握しきれておらず、支援が届きにくいという実態があります。

津波で車が流されてしまった世帯も多く、特に高齢者だけの世帯では買い物に行くのもままならない状況です。そのため、パッケージにはお米や醤油、味噌など、重たいものを中心にしています。また、お子様のいらっしゃるご家庭では、ペットボトルの水へのニーズも高くなっています。今後の仕事の目途がたたない方も多いため、食品パッケージは生活の支えになる、と非常に喜ばれています。同時に、震災から時間が経つにつれて、世間から忘れられてしまう不安を訴えるお声も増えています。

東北地方の仮設住宅や避難中の

約**5,240**世帯に

食品パッケージを届けています。

(2012年10月30日現在)

TABLE FOR TWO + Tohokuプログラムに頂戴した寄付金は、NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンとの協働で東日本大震災の被災地での食料支援に充てられます。

岩手県、宮城県、福島県の仮設住宅で生活されているご家庭や、買い物に出るのが困難な世帯に食料品を届けています。

本年8月には、TFT + Tohokuプログラムご参加企業やTFT大学連合の有志の皆様にご協力いただき、食品パッケージを梱包・配達いたしました。

今回は、梱包作業の様子と、パッケージを受け取られた方々からのお便りをご紹介します。

TABLE FOR TWO
+Tohoku

南三陸町
仙台
石巻市
南相馬市



段ボール箱を並べ、数人で手分けして順番に食品を入れていきます

8月の食品パッケージ

TFT + Tohokuのご説明資料も同封いたしました

食品パッケージを受け取られた方々から、お便りが届きました

今回の食品パッケージを受け取られた方々より、TFT + Tohokuプログラムにご参加・ご協力くださっている皆様へ向け、たくさんのお便りを頂戴しました。その一部をご紹介します。

